

SUPER GT 第2戦 富士スピードウェイ

5月3日 天候：晴れ コースコンディション：ドライ

2025年SUPER GT第2戦が5月3日・4日に、富士スピードウェイで開催されています。5月3日は午前中に公式練習が行われ、予選は午後3時3分から10分間のQ1、続いて上位10チームによるQ2が行われました。

最初に平峰一貴選手がドライブし、6周目にこのセッションベストタイムとなる1分27秒720をマーク。その後ピットインし、6周して再びピットイン。さらにその後、3回ピットインしてセットアップを進めます。このセッションは45周し、そのうち平峰選手が18周、ベルトラン・バゲット選手が27周して午後の予選に向け準備を進めました。バゲット選手のこのセッションでのベストタイムは1分27秒792と、ここでも2人のドライバーが非常に高いレベルで安定した速さを見せることとなりました。

午後のQ1はバゲット選手が担当。2周目に1分34秒763で2番手、3周目1分35秒073、4周目に1分31秒221で3番手、5周目1分27秒358で6番手と上位に付けましたが、最後にライバル勢のタイムが伸び、12番手で終了。残念ながらQ2進出は果たせませんでした。

5月4日の3時間(約118周)決勝は、12番グリッドからスタートすることとなりました。



【コメント】

■ TRS IMPUL with SDG 平峰一貴選手

朝のフリー走行は、走り出してすぐのフィーリングも良く、そこそこ戦えそうだという手応えがありました。でも、少し改善しないといけない部分もあり、それはクルマのバランスと自分のドライビングも含めてなのですが、良くしようと、その後ピットインを重ねながらセットアップを進めていきました。結果的に改善できるポイントをうまく見つけることができず、少し苦しかったです。チームとミーティングをさらに重ね、明日に向けて改善点を探りたいと思います。

■ TRS IMPUL with SDG ベルトラン・バゲット選手

今日の結果は、正直に言ってかなり残念なものでした。というのも、2月にこのサーキットで同じようなコンディションの下、とても良いテストができていましたし、そのときのフィーリングもすごく良かったので、今日はもっと良い走りができると思っていたからです。そのテスト時のラップタイムも良く、クルマも速かったのです。でも今日は、そのフィーリングをまったく再現できませんでした。Q1の予選は12位で、Q2に進出できる10位にはかなり近かったのですが、ほんの少しだけその順位をくつがえず速さが足りませんでした。何が問題なのか、セッティングなのか、タイヤ選択なのか、それとも他の何かなのか、正直分かりません。明日、ロングランのペースを見れば、もう少し現在の状況に対して理解が深まると思います。

■ TRS IMPUL with SDG 星野一樹監督

今日は朝から綺麗に晴れ上がり、ドライコンディションで午前中のフリー走行を走ることができました。早朝に雨が止んだこともあり、その影響はまったくありませんでした。フリー走行自体は順調でしたが、車体のバランスの面で少し課題があり、そこをセットアップしながらの走行となりました。予選全体のQ1、Q2のタイムを見ても分かるように、タイムが非常に拮抗しており、ほんのわずかな差が順位としては大きな違いになってしまっています。車体のセットアップ、タイヤの選択などを含め、少しずつ足りなかったのがQ2へ進めなかった理由だと感じています。とはいえ、明日の決勝レースは長いので、十分に追い上げられると思います。ミスなくしっかりとレースを戦い抜き、3時間後には表彰台に上がれるところまで行きたいですね。明日も頑張ります！

2025 SUPER GT



第2戦 富士スピードウェイ Photo Gallery

